

あさひ幼稚園の新園舎を長谷部誠さんがはじめて訪問。園児といっしょに七夕飾りを作りました

6月27日、ドイツのサッカーリーグで活躍している長谷部誠選手が、新園舎完成後はじめて訪問しました。梅雨の晴れ間の素晴らしいお天気の日です。「長谷部選手、お帰りなさい」と園児たちに迎えられ、「この新しい幼稚園には日本のたくさんの人たちの思いが込められています」とあいさつされました。2011年、2012年にも訪問し、園児たちとボール遊びや紙芝居、人形劇などで交流してきましたが、今回は七夕飾りの提灯を作り、笹竹に飾りつけをしました。短冊に願いごとを書きました。何と書こうか、悩んだ末に書き上げたのは、『サッカーを通して



みんなを笑顔に！！』でした。“おべんとう・おべんとう・うれしいな～”の歌とお祈りのあと、園児たちといっしょに昼食。午後は園児たちと得意のサッカーボールで遊んだあと、「ユスラウメ」の記念の植樹をしました。春には桜に似た花が咲き、夏にはサクランボに似た小さな赤い実で子どもたちの生活を彩って欲しいという長谷部選手の思いがこめられたこの木が、子どもたちの成長を見守っていきます。子どもたちの毎日が光り輝くものでありますように。

©日本ユニセフ協会/2013/satomi matsui

(南三陸町のあさひ幼稚園は、長谷部選手のユニセフへの寄付により再建されました)

被災地・亶理町でアグネス・チャンさんが講演しました・・・テーマは「こころの復興」

6月30日、亶理町吉田小学校を会場に、亶理町吉田西部まちづくり協議会主催の講演会「日本、復興への道～一人ひとりの心から～」が開催されました。すぐ近くには、ユニセフが再建した吉田保育所があります。アグネスさんは、一人ひとりの心の復興の大切さについて、『こころを切り替え』、『こころを鍛え』、そして『こころに希望を』と、3つの『き』で心をより強く、賢く、しなやかにするということが、ご自分の体験を交えてお話しされました。日常のいろいろなことをどのように捉え、考え行動するか、たいへん勇気を得た思いです。今日、今から実践しよう、こころがあったかくなりました。アグネスさんは被災地の一日も早い復興を願い、時間の許す限り被災地を訪問してください。多くの皆さんと握手し、いっしょに写真も撮らせていただきました。



仙台空港の「ユニセフ外国コイン募金箱」から回収

ユニセフでは、仙台空港国際線を降りた所に募金箱を設置しています。一昨年の津波で流出し、新しいBoxを新たに置いています。年に一度、紙幣とコインを回収し、夏休みに小中学生がボランティアで国ごとに仕分けしています。日本国内では「お金」でなくても、それぞれの国に戻れば、立派な貨幣です。



ユニセフ学習会 @大崎・宮沢小学校

毎年6年生を対象に、ユニセフ活動や世界の子どもたちの様子をお知らせしています。とても反応のいい6年生のみんなと楽しく学習ができました。ユニセフ支援のキーワード「自立と予防」をしっかりと覚えてもらいました。



夏休みユニセフ教室～小中学生のユニセフ・ボランティア活動と先生方のユニセフ研修会

7月27日(土)は外国コイン仕分け活動があります。夏休みのボランティア活動、そして自由研究としてユニセフを活用することができます。8月1日(木)は教職員対象(一般の方もOK)にユニセフ活動と「子どもの権利条約」を理解するためのワークショップがあります。講師は東京からおいでいただきます。ぜひご参加ください!!

宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

事務所:月曜日～金曜日

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

10:00～17:00

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

上記以外 070-6617-6284(五十嵐栄子)